

市長定例記者会見資料

平成29年3月3日

部 課 名	経済産業部 農林課	電 話	22-8356												
課 長	中村 光男	担 当 者	弥益 孝二												
1. 件 名	「新規就農パッケージ支援者認定式」の開催について														
2. 目 的	農業を主体とした、移住・定住対策を進めるため、市が「技術研修」、「農地の確保」、「機械・施設の整備」、「住居の確保」をパッケージで支援する4名の若者を認定します。														
3. 日 時	平成29年3月22日（水） 午前11時30分～午後12時まで														
4. 場 所	周南市役所本庁2階 第2応接室														
5. 内 容	<p>新規就農パッケージ支援者</p> <table> <tr> <td>長廣 修平</td> <td>24歳</td> <td>男性</td> </tr> <tr> <td>神田 有梨沙</td> <td>37歳</td> <td>女性</td> </tr> <tr> <td>吉村 康平</td> <td>33歳</td> <td>男性</td> </tr> <tr> <td>吉村 聡子</td> <td>31歳</td> <td>女性</td> </tr> </table> <p>新規就農パッケージ支援者の第2期生として、20代の男性1名、30代の女性1名、30代の夫婦1組、合計4名の若者の認定式を行います。</p> <p>認定した4名は、平成31年3月の就農を目指し、4月から、栽培技術や農業経営について、山口県立農業大学校で開講されている「やまぐち就農支援塾」で、また、平成30年度は先進農家で研修されます。</p>			長廣 修平	24歳	男性	神田 有梨沙	37歳	女性	吉村 康平	33歳	男性	吉村 聡子	31歳	女性
長廣 修平	24歳	男性													
神田 有梨沙	37歳	女性													
吉村 康平	33歳	男性													
吉村 聡子	31歳	女性													
6. 参 集 者	山口県周南農林事務所、山口県立農業大学校、公益財団法人やまぐち農林振興公社、周南農業協同組合、周南市農業委員会 など関係団体														

## 周南市は“本気で農業を始めたい方”を応援します！

農業を始めるには、栽培技術の習得・農地の確保・資金など多くの課題があります。周南市では課題解決のため“パッケージ”で支援します。

### ●技術研修

農業大学校や先進農家で約2年間研修します。

### ●農地の確保

農地中間管理機構を通じて、10年以上の貸借可能な農地を斡旋します。

### ●機械・施設の整備

市が整備した、ビニールハウスや農業用機械を、最長10年間レンタルします。

### ●住居の確保

市の遊休施設や一般の遊休家屋を中心に安価な借家を斡旋します。（家賃の目安3万円前後）

## 就農までの“Hop”“Step”“Jump”

### Hop

#### 技術の習得

栽培技術や経営知識等を身につける。

- 国による青年就農給付金（準備型）を活用し、山口県立農業大学校に開設されている「やまぐち就農支援塾」で、農業経営に必要な専門技術や知識、流通・販売などを約1年間学びます。
- 2年目は、県内の先進農家で現地研修により技術を磨きます。
  - ※研修費不要（研修に係る交通費、傷害保険代等は各自で負担）
  - ※青年就農給付金（準備型）
    - 研修期間中（最長2年間）年間150万円が国より給付されます。



### Step

#### 就農準備

- 青年等就農計画を作成し、市が認定することで認定就農者になることができます。認定就農者になることで青年就農給付金（経営開始型）や無利子の資金、補助事業などの支援が受けられます。
  - ※青年就農給付金（経営開始型）
    - 就農開始から（最長5年間）年間最高150万円が国より給付されます。（所得により変動）

### Jump

#### 就農

- いよいよ農業経営の開始です。就農後も栽培技術や規模拡大などの支援を継続して行います。